

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名:	海川敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 105
分水嶺区分:	H195日進峠~H196 R42 451峰下	(3)山行日:	2005年	1月	24日	(4)天候	曇り後吹雪

積雪 1m

(5)参加者氏名および会員番号

横内泰美	10687						
海川敏雄	10981						
片岡次雄	12093						
計			3名			計	

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		日進峠~R42(道道八雲北檜山線)と支庁界の交点											
アプローチ:		函館~R5~八雲町~上八雲町~日進峠											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点 H195	日進峠	後志日進	140	1	36.3	42	16	55.9	371		10:15	A-1	8, 10
	405m地点	後志日進	140	1	26.4	42	16	35.5	405	10:45	10:50	B-4	9, 10
	P449m	後志日進	140	1	18.3	42	16	24.3	447	11:10	11:15	B-4	9, 10
	P451m	後志日進	140	0	52.7	42	16	20.7	450	11:55	12:00	B-4	9, 0
分水嶺離別点 H196	R42 451峰下	後志日進	140	0	55.4	42	16	13.8	390	12:10		A-1	
歩行終了点													

総歩行時間(休憩時間を除く): 1時間45分
分水嶺距離 約2km 全歩行距離 約2km

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1	「国有保安林内作業行為証・無線施設敷・渡島森林管理署」と表記された塔が立っている。

(9)水および植生に関連した特記事項

2	ブナ、ダケカンバ、シナノキ等の落葉樹が中心で、1m程度の積雪の間から、所々にネマガリタケが首を出している。

(10)その他の特記事項

3	積雪約80cm~100cm。分水嶺に踏み込んで直ぐに雪が降り出し、P451に登り着いた頃には激しい吹雪となった。ホワイトアウトして何も見えず、急いでR42上を下りる。本日はこれまでと諦めて帰路に着く。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	